



マリンピア沖洲太陽光発電所
空撮写真

■仕様

出力	2,000kW(2メガワット)
年間発電電力量	2,389,000kWh(一般家庭660世帯分)
敷地面積	27,093㎡
工事費	6億3,000万円
太陽電池パネル	240W×8,784枚(パナソニック社製)
パワーコンディショナ	500kW×4台
運転開始	平成25年4月24日



■所在地(徳島市東沖洲1丁目23番地)



徳島県企業局

〒770-8570

徳島県徳島市万代町1丁目1番地(徳島県庁10階)

TEL: (088) 621-3242

FAX: (088) 621-2877

<http://www.pref.tokushima.jp/kigyokyoku/>



マリンピア沖洲太陽光発電所



徳島県企業局

とくしまの美しい未来のために

西日本初の県営メガソーラー

徳島県は、全国トップレベルの日照時間や豊富な森林資源を有するなど、「自然エネルギーの宝庫」であります。こうした本県の優位性を最大限に活用し、「自然エネルギー立県とくしま」の実現に向けた取り組みを推進し、さらに、県として自らが率先して自然エネルギーの導入を促進するため、ここマリンピア沖洲の地に県営では、西日本初となる「太陽光発電所」を建設しました。

この発電所は、出力2,000kWで、一般家庭660世帯の電力量をまかなえる施設となっています。

H型形状基礎



基礎の内側にガスが滞留しないようH型形状の基礎を採用

高耐食性鋼板(ZAM材)



塩害による架台の腐食を防止するため、高耐食性鋼板(ZAM材)を採用

考慮された傾斜角



暴風時の風圧荷重と発電効率を考慮し、パネルの傾斜角は10度を採用

敷地中央に配置



太陽電池からの送電ロスを少なくするため、受電盤、パワーコンディショナは敷地中央に配置

エコみらいとくしま



「環境活動の実践」、「環境学習・教育のサポート」、「地球温暖化防止活動の推進」の機能を持つ環境首都とくしま創造センター（エコみらいとくしま）2Fには自然エネルギーの学習拠点となる展望室があります。



現在の発電状況や運転開始日からの発電電力量などを確認できる表示板



マリンピア沖洲太陽光発電の
太陽電池パネルの総数は
なんと**8,784枚!**
総面積は**14,494㎡**。
年間発電電力量は
2,389,000kWhです。



ここがスゴイ!
太陽光発電

① ケタ外れのパワー!太陽光エネルギー!

太陽のエネルギー量は420,000億kcal/秒。

他の再生可能エネルギーと比較しても圧倒的な量です。

【・水力:5億kcal/秒・潮汐流:7億kcal/秒・地熱:77億kcal/秒・風波:880億kcal/秒】
資源を必要としない太陽光発電は地球環境に優しく、半永久的に太陽エネルギーを利用することが可能です。

出典:太陽光発電協会「太陽光発電基礎知識」<http://www.jpea.gr.jp/11basic01.html>

② 地球に優しいメガソーラー!

- ・発電時に廃棄物・排水・排気・騒音・振動が発生しない。
- ・CO₂削減効果。

石油火力発電所のCO₂排出量は738g/kWh、マリンピア沖洲太陽光発電所のCO₂排出量は38g/kWh。その差は700g/kWh。年間約1,670トンの削減効果があります。
以上のことからメガソーラーは、地球温暖化の緩和対策として非常に有用な手段の一つであると言えます。

出典:2010年 電力中央研究所報告書

③ 一般家庭660世帯分の電力量!

マリンピア沖洲太陽光発電所の出力は2,000kWで、年間発電電力量は2,389,000kWhです。

これは一般家庭660世帯分の電力量をまかなえる計算になります。発電した電力は四国電力(株)に売電します。(42円/kWh・20年間)

(参考)徳島県企業局が所有する4つの水力発電所の出力は、

・坂元発電所:2,400kW ・日野谷発電所:62,000kW

・川口発電所:11,700kW ・勝浦発電所:11,300kW

4つの発電所の年間発電電力量は、324,000,000kWhになります。